

第4 死亡野鳥のレベル別回収区分一覧

(平成29年10月現在)

発生状況と対応レベル		死亡野鳥等調査			
		検査優先種 1	検査優先種 2	検査優先種 3	その他の種
対応レベル 1	通常時	1羽以上	3羽以上	5羽以上	5羽以上
対応レベル 2	国内単一箇所発生時 (近隣国発生時等)	1羽以上	2羽以上	5羽以上	5羽以上
	*野鳥監視重点区域 発生地周辺(半径10km以内を基本)	1羽以上	1羽以上	3羽以上	3羽以上
対応レベル 3	国内複数箇所発生時 (近隣国発生時等)	1羽以上	1羽以上	3羽以上	5羽以上
	*野鳥監視重点区域 発生地周辺(半径10km以内を基本)	1羽以上	1羽以上	3羽以上	3羽以上
検査優先種一覧		(加目加科) ヒシクイ マガン シジュウカラガン コクチョウ コバクチョウ コハクチョウ オハクチョウ オドリ ヒトリガモ キンクロシロ (カイツブリ目 カイツブリ科) カイツブリ カムリカイツブリ (ツル目ツル科) マヅル ナヅル (トリ目ガメ科) コリガメ (カ目カ科) オカカ (ハヤブサ目 ハヤブサ科) ハヤブサ 計17種 上記に加え*1 重度の神経症状 が観察された 水鳥類 <small>*1: 重度の神経症状とは、首を傾けてふらつき、首をのけられ、立てない、状態が正常に飛翔したり、採食したりすることはできないもの</small>	(加目加科) マガモ オカガモ トモガモ ホシシロ スガモ (ツル目クイ科) オハシ (カ目カ科) オハシ オハシ ノリ クマカ (カ目カ科) フクウ 計11種	(加目加科) カガモ*2 コガモ等*2 (カイツブリ目 カイツブリ科)*2 ハジロカイツブリ等*2 (カイツブリ目ウ科) カウ (ハリカシ目ウ科) アサギ (ツル目ツル科)*2 タンチョウ等*2 (トリ目ガメ科) ウミコ セグロガメ等*2 (カ目カ科)*2 ヒ等*2 (カ目カ科)*2 コミズク等*2 (ハヤブサ目) チョウゲンボウ等*2 *2: 検査優先種 1、2以外全種	(スズメ目カス科) ハシロトガラス ハシロソガラス ミマガラス (スズメ目) スズメ メジロ ツバメ ムクドリ ヒヨドリ セキレイ ウグイス ホトギス ツグミ ヒバリ モズ ホシロ ジョウビタケ等 (ハト目ハト科) ドバト キジバト カワバト等 (キジ目キジ科) キジ アカマドリ コジュケイ ウズラ等 (トリ目ウ科) イソギ カサギ等 (ハリカシ目ウ科) ウミ 上記のほか 検査優先種 1～3以外の 鳥種すべて

詳細については、環境省マニュアルを参照